

## 6 月度例会「丹波篠山の新しい可能性を探そう！」

### グループB 小テーマ【農業】

世の中が大きく変化している昨今において、丹波篠山市の地域経済の活性の可能性を模索するため、グループワークでアイデア出しを行いました。

ここでは、そのアイデア出しの結果を掲載しています。見ていただいた方にとっての丹波篠山の新しい可能性を考えるきっかけになればと思います。

丹波篠山青年会議所一同、今の状況に負けない丹波篠山市の活性のために活動して参ります。

アイデア	意図	効果
フルオートメーション化して遠隔で農地管理が出来るようにする	場所や時間を問わずに農業を行うことができる仕組みを作る	就農人口を増やすことができる
市民全員が農業を行う	農業を身近にし、国内生産の力を高める	休耕地の活用ができ、農業人口を増やすことができる 自給自足の取り組みにより国内生産が強化される
生協などのような宅配事業への参入	3密を避けながら買い物ができる仕組みを作る	コロナ禍でも販売を促進することができる
農作物をメルカリみたいに出品できるアプリを作る	誰でも手軽に売買ができる仕組みがあれば、需要と供給を高めることができる	あらゆる農家が適切な価格で販売することができる、新たな顧客の開拓に繋げることができる
コンビニと農業のコラボのような、他店での店頭販売を行う	丹波篠山の魅力的な農作物によってお店の集客効果を生み出しながら、農作物のPRにもつなげる	相乗効果によって双方の売上を伸ばすことができる
農業をアミューズメントとして集客して、体験型の農業を形にする	休耕地を活かしながら、農業の魅力を最大限に伝えたい	休耕地を活用でき、就農人口の将来的な増加が期待できる
アミューズメントやスポーツとして、農業という言葉と違う言葉をつくる	農業以外のキャッチな言葉を使うことで、若い世代にも興味を持ってもらう	農業＝楽しいというイメージを持ってもらい、農業への興味を促進することができる
一日の楽しい農業体験を作って販売する	農業の魅力を手軽に体験してもらう	新しい観光資源として、観光客の増大や、農業への興味を促進することができる